

# 事業報告書

団体名: <sup>ミライアル</sup>Miraiallかわさき、コンアニマ

事業名	コンアニマ～吃音を持った中高大学生による音楽団～
-----	--------------------------

## 【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】

### 目的

- 1、吃音当事者が人前に立って楽器等を演奏し、吃音に対する思いを音楽に乗せて伝えることによって人前に立つことに対する勇気やそれによって話すことに対する自信をつける
- 2、吃音啓発映画「注文に時間がかかるカフェ～僕たちの挑戦」を多くの人に知ってもらい、その映画の最終目標である「吃音への理解を広め同じように悩む若者に勇気を与える」ことの達成に近づける
- 3、イベントを通して吃音を知らない人の吃音への理解を深める

## 【実施結果(成果)】

2023年11月5日(日) 14:00 開演 川崎市総合自治会館

参加人数 103名(大人76名 子ども20名 スタッフ7名)

出演者 5名

### 内容

・映画「注文に時間がかかるカフェ～僕たちの挑戦」の上映

・楽器等の演奏

+吃音当事者の学生5名によるライブ。出演者から普段は言えないような吃音への思い、不安などを募集し、それを詩にしてオリジナルソングを1曲作り演奏した

カバー3曲 オリジナルソング1曲 Con♪anima ～この歌はいつか音を纏いますか?～

・今回のイベントのトークショー

広報 チラシ3000部 各市内図書館、公民館、出身中学校 支援級

FM川崎(ラジオ)への出演(2回) タウンニュース 高津区版 東京新聞経済欄 テレビ番組取材

## 【実際の効果と課題】

広報の段階から多くの方々に興味を持っていただき、定員を増やしてもなおキャンセル待ちが発生するほど申し込みがあり吃音に悩む方が多くいることを知ることができた。

広報について、チラシは「小中学校通級指導教室」(ことばの教室)にも配布したが、各教室の先生方がさらにコピーなどをしてくださったようで、ここからいらしてくださった方が多くいた。

また、出演者のメンバー募集から行き、チラシ制作も吃音当事者の方が声をあげてくださり、スタッフも含め12人が賛同して集まった。募集を締め切った後も、参加してみたかったと連絡をくれた中学生、高校生がいた。

### 効果と課題について

1、出演者が音楽の演奏を通して話すこと、人前に出ることへの自信をつけた

2、当事者の吃音への思いをオリジナルソング等によって直接来場者に届くことで吃音に対する理解が深まった

3、映画「注文に時間がかかるカフェ」を多くの人に見ていただくことで同じように吃音に悩む学生に勇気を与えた

出演者、お客様にそれぞれ異なるアンケートを実施。アンケート回収率100% (大人76名)

出演者の中で音楽という好きなことを通して自分の思いを伝えることで吃音を気にすることがない、本来の自分に戻ることができた。そこでどれだけ吃っても、自分の思いを伝えてもお客様が理解してくれているんだという安心感が生まれ、リラックスすることができたという声を多く頂けた。このように吃音当事者の心理的安心感を生む空間を作り出すことで大勢の人の前に立っても落ち着いて話すことに繋がるのではないかと考えた。

また今回のイベントの冒頭に注文に時間がかかるカフェの映画を上映したがそれにより吃音当事者の純粋な思い、日々の願いなどを伝えることができた。これにより出演者にとって「皆が吃音を知っている」という心理的安心感を増幅させると同時にこの映画を広めることができた。

お客様のアンケートについてまとめると下記のような結果が得られた。吃音当事者の人数に対してまだそのことを相談できる環境が少ないこと、また家族、友人、先生など様々な視点でそれぞれどのようなサポート、支援をしていけばいいのかわからないという方々が多かった。

このようなことから吃音当事者と支援する方々が共に互いを理解し合う空間を作っていくことが大切だと考えた。

この吃音当事者の心理的安心感を生む空間、当事者と支援する人が共に理解し合う空間。この二つを満たしたイベントを今回開催することができ、当初の目標であった吃音があっても音楽を通して想いを届ける空間というものを作り上げることができた。

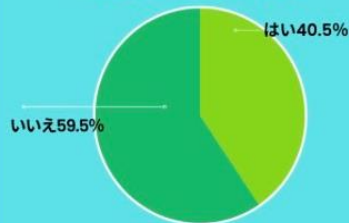
今後はこの音楽団を関東圏だけでなく全国に広めていきたい。日本全国に吃音というハンディキャップがあっても音楽を通して繋がれる空間というものを広めていき全国にこのプラットフォームを作っていく。

また各地でオリジナルソングを作成し、それらを集め日本全国の吃音当事者の思いを込めた CD を作ってみたい。

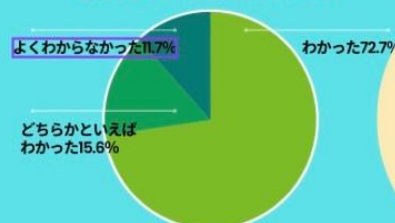
このような活動を通して吃音で悩む学生に吃音は 1 人で悩むのではなくみんなで助け合って向き合っていくものだということを広めていき、吃音で悩む人が 1 人でも減るような社会を目指していきたい。

## アンケート結果 お客様

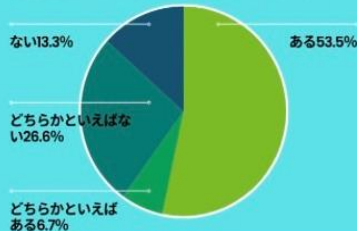
吃音で悩んでいますか？



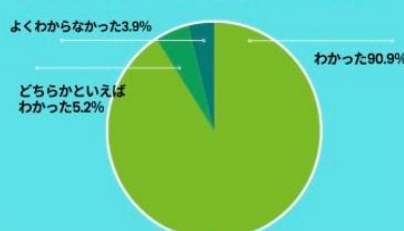
吃音について理解できたか？



吃音を相談できる場所はありますか？



出演者の吃音への思いが伝わりましたか？



・吃音を相談できる場がまだ少ない

・吃音への思いは音楽に乗せて伝えることができる

筆記アンケートには具体的な思いを沢山頂けた